

T
O
K
A
C
H
I

北海道新聞

夕刊

2005年
2月26日

発行所
北海道新聞帯広支社
〒080-8655
帯広市西4条南9丁目1-4
帯広市外局番 0155 報道(24)2151
営業(24)2153 販売(24)2155

読者センター
電話 011-210-5888

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

©北海道新聞社 2005

主な記事

シカ肉活用N-Z視察

テルアビブで自爆テロ4人死亡
北の「6カ国」復帰へ日米韓連携
不明男性の遺体「小樽に捨てた」

15 9 5 5



ショット

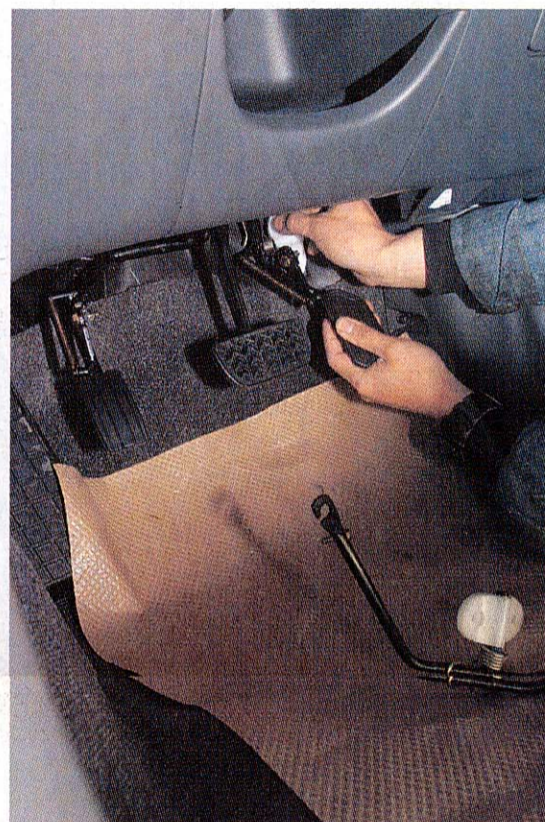
福祉車両改造の専門工場「イフ」

来週の帯広十勝16
土曜プレゼント17

工場内で回転座席の取り付け作業を進める内藤社長(左)。経理を担当する夫人と従業員1人の小所帯



左手で操作するアクセル兼ブレーキ。手前に引くとアクセル、前方に押し出すとブレーキがかかる。「慣れるとこんなに楽な運転はない、しかも安全。飛行機だって腕だけで操縦するでしょう」



左足用のアクセルペダル(左)。右側では本来のアクセルを跳ね上げタイプに付け替えている。跳ね上げた状態において、健康者が使用する時はペダルをおろす

福祉車両へ注文続々と

多岐用途の自動車工場「イフ」

体の不自由な人が運転したり、乗ったりする福祉車両の改造を専門にする自動車工場「イフ」(内藤憲孝社長、帯広市西三北二)が開業して約一年。福祉施設や個人からの注文が全道から舞い込む工場を訪ねた。

工場ではアクセルやハンドル、ギアなど運転装置の改造だけでなく、自動車の車内から市販される車輪まで、あらゆるパーツの交換や修理も行う。内藤社長は「道内には福祉車両の改造を請け負う工場が少なく、開業を志す人も探している。」「どんな疑問、要望でも受けて、使いやすさを重視して、私たちがの仕事を」と話している。問い合わせは同工場(帯広市西三北二)に電話(0155)388-883(守原裕)080-155-388-883(守原裕)。



回転し車外にせり出す座席。下にある台車とレールで連結し、そのまま車いすになるタイプ

Shot

普通の車いすに取り付けが可能な電動車いすユニット。重さ約15kg。片足の人のための自転車製作など、自動車以外の車両の相談にも乗っている



数ある取っ手や手すりを持つ内藤社長。自動車販売店では増設などの作業は難しい。ハンドル用取っ手や、乗り降りしやすい回転座席など部品も多彩



後部から車いすごと乗るためのスロープ。出し入れ時に車高が下がるように改造することも可能

写真を募集しています

「View(ビュー)タイプ」では写真作品を広く公募しています。土曜日の夕刊に月1回掲載します。作品は十勝管内で撮影したもので、題材は自然や暮らし、イベント、人物など自由です。応募者はアマチュアカメラマンのみです。

みとしますが、居住地や年齢などは問いません。作品は一枚写真(組み写真不可)で、プリントでは2LからA4か六つ切りまで、デジタルの場合は10インチ程度のJPEGデータをMOかフロッピーに記録し、撮影者の名前、住所、

報道部長、カメラマンなどから選考のうえ、毎回数点ずつ掲載します。締め切りは、毎月15日です。応募作品の返却には応じられません。掲載の場合は薄謝を差し上げます。

年齢、職業、連絡先、撮影場所、写真説明などを添えて、〒080-8655(住所は不要)北海道新聞帯広支社報道部「Viewタイプ」とか「係へ送ってください。未発表の作品に限ります。重複応募も避けてください。